



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	ウワロフスキによる最古のサハ語文の特徴
Author(s)	江畑, 冬生
Description	研究ノート
Citation	北方人文研究, 7, 55-69
Issue Date	2014-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/55037
Type	other
File Information	jcnh07-03-EBATA.pdf



〈研究ノート〉

ウワロフスキによる最古のサハ語文の特徴

江畑 冬生

新潟大学

1. はじめに

サハ語（ヤクート語）は、ユーラシア大陸の東西に広がるチュルク諸語の1つである¹。約30余のチュルク諸語の中で、サハ語は、古い段階の長母音を保持するなど比較言語学上で重要な特徴で知られる。ただしサハ語の歴史的資料となると、それほど昔に遡れるわけではない。

サハ語文法の概要を記述した最初期の文献として Böhlingk (1851) がある。その記述は当時の水準としても優れたものであるが、その価値は現在でも決して減じていない。Böhlingk (1851: 1-47) には、サハ語母語話者であるウワロフスキ (Uvarovskij) の「手紙」と「回想」が採録されている。これらこそ、サハ語母語話者自身の手による最古のテキスト資料に他ならない²。ウワロフスキのテキストを分析することは、19世紀半ばのサハ語文の特徴を描き出す手掛かりになる。本稿ではウワロフスキの「手紙」を考察対象とし、特に母音の長短について、現代標準サハ語との食い違いが見られることを示す。

2. ウワロフスキと彼のテキスト

ウワロフスキ (Афанасий Яковлевич Уваровский) は1800年生まれで、ヤクーチヤ（現在のサハ共和国）のエジゲン地方の出身である³。彼は郡警察の家に生まれ、自身は役人として働いた。1840年から1852年までの12年間は、ペテルブルグに居住していた。この滞在のうちの7か月の間、ウワロフスキはベートルリンク (Böhlingk) につきっきりでサハ語についての情報提供を行ったのだという。

ウワロフスキの手によるテキストは2つの部分から成る。1つはベートルリンクに宛てた手紙で (Böhlingk 1851: 1-4)、もう1つは故郷で過ごした若年期の回想である (Böhlingk 1851: 5-78)。Böhlingk (1851) では両者に独訳が施されているが、逐語訳やグロスが付されていない。

ウワロフスキのテキストを分析対象とした研究には Nelunov (2013) や Nikolaeva (2013) などがある。これらはいずれも語法や言い回しを考察したものであり、管見の限りでは形態音韻面を扱っているものは無い。Pakendorf (2007) は資料としてウワロフ

¹ 本稿は、平成25年度新潟大学人文学部研究推進費の助成を受けた研究成果の一部である。査読者からの有益なコメントに深謝する。

² より古い文献として1844年に出版された『短いカテキズム、ロシア・サハ2つの言語による』(Кылгас катехизис нуча, саха икки тылыгар) があるが、筆者は残念ながら閲覧できていない。

³ エジゲン (Эдьигээн) 地方は、サハ共和国の中心都市ヤクーツクから北方レナ川沿いに約900km離れた所に位置する。ロシア語ではジガンスク (Жиганск) と呼ばれる。

スキの「回想」の冒頭約3分の1を扱っているが、母音の長短については特に論じてない。

以下、第3節ではウロフスキのテキストと現代標準サハ語の表記法上の違いについて述べる。第4節ではウロフスキの「手紙」の全文を、筆者によるグロスと訳を付して示す。第5節ではウロフスキの「手紙」の分析から、現代標準サハ語との違いについて考察する。第6節では本稿の結論をまとめる。

3. 表記法の違い

ウロフスキによるサハ語文は、現代標準サハ語と比較した場合に若干の違いが散見される。本節ではそのうち、表記法上の違いと見なせるものを挙げる。[1]から[6]までは子音に関する違い、[7]と[8]は母音に関する違いである。これらは純粋に表記法上の違いであるとみなせるため、本稿の例文では現代標準サハ語の表記法に置き換えてある⁴。

- [1] 子音音素/s/について、ウロフスキは **c** のみを用いるが、現代標準サハ語では **c** と **h** を使い分ける⁵。例えば、原文 **киси** の代わりに5節では **киһи** 「人」と表記する（下線を施した該当箇所以外は現代標準サハ語の表記を用いる。以下も同じ）。
- [2] 子音音素/l/について、ウロフスキは **л** と **l** を使い分けるが、現代標準サハ語では **л** のみを用いる⁶。例えば、原文 **кэл** の代わりに本稿では **кэл** 「来る」と表記する。
- [3] 子音音素/j/について、ウロフスキは **й, j, i** の3種を使い分けるが、現代標準サハ語では **й** のみを用いる⁷。例えば、原文 **миѳигин** の代わりに本稿では **мийигин** 「私を」と表記する。
- [4] /rt/のような語末子音連続の第2子音について、ウロフスキは **рд** のように有声子音を用いて表記するが、現代標準サハ語では **рт** のように無声子音を用いて表記する⁸。
例えば、原文 **бэрд** の代わりに本稿では **бэрт** 「とても」と表記する。
- [5] 子音音素/z/[dʒ]について、ウロフスキは **ц** を用いるが、現代標準サハ語では **дь** を

⁴ ウロフスキが用いる二重母音の一部 (**иэ, үө**) には、現代標準サハ語では長母音 (**ээ, өө**) が用いられる。これは方言差を反映している可能性があるため、本稿では原文の通りにしてある。

⁵ 現代サハ語における[s]と[h]は異音の関係にあり、母音間では若干の例外を除き[h]が現れる。Pakendorf (2007: 82-86) は Böhlingk (1851) 以前の断片的なサハ語語彙の記録から、サハ語の母音間の/s/は18世紀初頭に[s]から[h]への変化を起こしたのだと結論づけた。

⁶ サハ語では母音調和規則により前舌母音と後舌母音が同一語中に共起しない。Böhlingk (1851) では、後舌母音を含む語中に **л** が表記され、前舌母音を含む語中に **l** が表記される。

⁷ ウロフスキの **j** は「鼻音化した[j]」を表す。現代標準サハ語では、鼻音化した[j]と **j** を正書法上で区別しない。現在のサハ語話者の多くはこれら2つの音を弁別しないが、一部話者は音素としての区別を持っている。ベートリンクは母音の後に続く子音 **j** を二重母音の後半要素 **i** として解釈する。ウロフスキの表記 **i** はこれに倣ったものであろう。

⁸ ドイツ語やロシア語には、閉鎖音の声の対立が語末で中和する現象がある。サハ語の語末子音連続の第2子音も、母音始まりの接尾辞が後続する場合には有声化するため、基底に有声子音を立てた方が良いようにも思われる。しかし子音始まりの接尾辞が後続する際に、接尾辞頭子音は無声音で現れる（このとき語幹末の第2子音自体は脱落する）。つまり基底に無声子音を立てないと、接尾辞頭子音は無声音で現れる理由が説明しにくいことになる。

用いる。例えば、原文 џиэ の代わりに本稿では дьиэ 「家」と表記する。

- [6] 子音音素/[ɲ]/[ɲ]について、ウワロフスキは н' を用いるが、現代標準サハ語では нь を用いる。例えば、原文 манџ'a の代わりに本稿では манньа 「報酬」と表記する。
- [7] ウワロフスキは ā のように長母音をマクロンを用いて表すが、現代標準サハ語では aa のように母音字を重ねて表す。例えば、原文 а́ттāх の代わりに本稿では ааттаах 「名声のある」と表記する。
- [8] ウワロフスキは母音字として ä, ö, i, ü を用いるが、現代標準サハ語ではそれぞれに э, ө, и, ү を用いる。例えば、原文 үлэбiт の代わりに本稿では үлэбит 「我々の仕事」と表記する。

4. ウワロフスキの手紙

本節では、ウワロフスキの手紙の全文に対し日本語によるグロスと訳を付して示す。太字や下線が示すのは、次節で考察する現代標準サハ語との違いが見られる部分である。

- (0) Үтүө-лээх тойон Отто Ныкалайабыс!

良い-PROP 長 PSN

「敬愛するオット・ヌカラヤブス！」⁹

- (1) Эн эгин аат-таах омук тылын бил-иэх баҕа-бы-ттан
 2SG ほどの 名-PROP 民族 語-P.3SG-ACC 知る-VN.FUT 希望-P.2SG-ABL
аас-пыт кулун тутар ый-га мин олоҕ-ор дьиэ-бэр
 過ぎる-VN.PST 3月 月-DAT 1SG 住む-VN.PRS 家-P.1SG-DAT
кэл-эн кэпсиз-бит-инг эн бары Саха кэпсэт-эр
 来る-SEQ 語る-PST-2SG 2SG 全て サハ 話す-VN.PRS
тыл-ы-н сурук-ка уур-ары гын-ар санаа-бы-н.
 言葉-P.3SG-ACC 書記-DAT 置く-PURP する-VN.PRS 考え-P.2SG-ACC

「あなたほどの名声ある人が民族語を知りたいという願いから先の3月に私の住む家に来て語った、あなたのサハ語の話し言葉を文字に写そうとするという考えを」

- (2) Бу эрэй-бэр көмөлөс диэн, эн мийигин
 この 願い-P.1SG-DAT 助ける:IMP.2SG と 2SG 1SG-ACC
көрдүө-бүт-үң.
 頼む-PST-2SG

「私のこの願いを助けよと、あなたは私に依頼した」

⁹ 「オット・ヌカラヤブス」とは、ペートルリンクの名と父称 (Otto Nikolaevich) がサハ語化したものである。

- (3) Саха дойдут-та мин төрүө-бүт сир-им, Саха тыл-а
 サハ 国-P.3SG 1SG 生まれる-VN.PST 所-P.1SG サハ 語-P.3SG
 мин төрүө-бүт тыл-ым: бу гэннэ эн үтүө
 1SG 生まれる-VN.PST 言葉-P.1SG この 後 2SG 良い
 туһа-лаах үлэ-бэр мин **көмөлөһ-үмнэ** кизэр дие-м
 利益-PROP 仕事-P.2SG:DAT 1SG 助ける-NEG:SEQ 拒否する:VN.FUT-1SG
 баар-а дуо?
 ある-P.3SG か

「サハの国（ヤクーチヤ）は私の生まれた土地だ。サハ語は私の母語だ。そしてあなたの有益な仕事を私が助けずに断ることなどだろうか」

- (4) Сэтти-с ый туол-ан эр-эр эн Саха тыл-ы-н
 7-ORD 月 満ちる-SEQ AUX-PRS:3SG 2SG サハ 語-P.3SG-ACC
 төрүттүө-бүт күн-нү-ттэн, бу абыйах ый-га эн үлэ-н
 築く-VN.PST 日-2SG-ABL この 少ない 月-DAT 2SG 仕事-P.2SG
 бүт-эн эр-эр.
 終わる-SEQ AUX-PRS:3SG

「7ヶ月目が終わろうとしている、あなたがサハ語を作った日から。このわずかな月の間にあなたの仕事は終わろうとしている」

- (5) Эн өй-үг эн Саха тыл-ын төрд-ү-н күүһ-ү-н
 2SG 知恵-P.2SG 2SG サハ 語-P.3SG 根-P.3SG-ACC 力-P.3SG-ACC
 абыйах ый икки ард-ы-гар бил-бит-инг сөбүү-лээх
 少ない 月 2 間-P.3SG-DAT 知る-VN.PST-2SG 驚き-PROP
 даҕаны үтүө даҕаны мэктиэһит эн эрэйдэм-мит эрэй-инг
 PTCL 良い PTCL 保証人 2SG 苦心する-VN.PST 苦しみ-P.2SG
 бэрт туһа-ҕа тур-уоҕ-ун.
 とても 利益-DAT 立つ-VN.FUT-??¹⁰

「あなたの知恵とあなたがサハ語の根本と力をわずかな月の間に知ったことは、驚きであり素晴らしいことである。保証人であるあなたが苦心した苦しみは大いに役に立つであろう」

¹⁰ この接尾辞-унが何なのか筆者には明らかになっていない。

- (6) Саха тыл-а суруг-а суоҕ-у-ттан өл-бүт тыл-ынан
 サハ 語-P.3SG 書記-P.3SG ない-P.3SG-ABL 死ぬ-VN.PAST 語-INST
 ааҕ-ылл-ар, эн кини-ни тилин-нэр-иэх кэм-инг
 読む-PASS-PRS:3SG 2SG 3SG-ACC 咲く-CAUS-VN.FUT 時-P.2SG
 аҕыйах хаал-ла.
 少ない 残る-PST:3SG

「サハ語は書記がないため死んだ言語に数えられる。あなたがそれをよみがえらせる時は間もなくだ」

- (7) Аҕыйах хаал-ла эн үрдүк да дьон хайаҕал-лары-гар
 少ない 残る-PST:3SG 2SG 高い PTCL 人々 称賛-P.3PL-DAT
 тий-иэ-г Саха да омук уһуг-а суох махтаныы-ты-н
 届く-VN.FUT-2SG サハ PTCL 民族 末端-ABE ない 感謝-P.3SG-ACC
 ыл-ыа-г.
 取る-VN.FUT.2SG

「まもなくだ、あなたが上層の人々の称賛に到達するのは、サハ民族の永遠の感謝を受け取るのは」

- (8) Төрүө-бүт Саха ычча-та эн ай-бык-кы-нан толору
 生まれる-VN.PST サハ 若者-P.3SG 2SG 創る-VN.PST-2SG-INST 十分に
 туһалан-ыаҕ-а, эн аак-кы-н үрдэт-иэҕ-э, ыраас
 利用する-FUT-3SG 2SG 名-P.2SG-ACC 高める-FUT-3SG きれいな
 сүрэҕ-и-ттэн эн тус-кар үрдүк айыы-га таңара-ҕа
 心-P.3SG-ABL 2SG こと-P.2SG:DAT 高い 創造主-DAT 神-DAT
 сүһүөҕ-ү-н сүгүтүө-ҕ-э.
 節-P.3SG-ACC 折る-FUT-3SG

「サハの若者は、あなたが生み出したものを十分に利用するだろう。あなたの名を高めるだろう。純粋な心であなたのために天の創造主たる神に膝を屈するだろう」

- (9) Бу буол-уоҕ-а киннэр төлөбүр-дэрэ, бу буол-уоҕ-а
 これ なる-FUT-3SG 3PL 対価-P.3PL これ なる-FUT-3SG
 эн манньа-г.
 2SG 報酬-P.2SG

「これは彼らの対価になり、これはあなたの報酬になるだろう」

- (10) Бу үлэ-бит икки ард-ы-гар эн баҕар-быт-ың мин
 この 仕事-P.1PL 2 間-P.3SG-DAT 2SG 望む-PST-2SG 1SG
 үөскээ-н төрүө-н сылды-быт майгы-бы-н **Саха-лы**
 増える-SEQ 生まれる-SEQ AUX-PST 気持ち-P.1SG-ACC サハ-SML
 суру-ллу-бут сурук-тан бил-иэх-хи-н.
 書く-PASS-PST 手紙-ABL 知る-VN.FUT-2SG-ACC

「この仕事の間にあなたは望んだ、生じつつあった私の気持ちをサハ語で書かれた手紙により知ることを」

- (11) Эн үтүө-ң туһ-у-ттан мин бу да туһ-у-гар
 2SG 良い-P.2SG こと-P.3SG-ABL 1SG これ PTCL こと-P.3SG-DAT
 эн баҕар-бык-кы-н күүһ-үм тириэр-иэб-и-нэн
 2SG 望む-PST-2SG-ACC 力-P.1SG 生かす-VN.FUT-P.3SG-INST
 ситэр-бэт буол-уох-пу-н **түктэрини** баар-а.
 尽くす-NEG:VN.PRS なる-VN.FUT-P.1SG-ACC 不具合 ある-P.3SG

「あなたの善良さのため、このためにあなたが望んことを私の力を發揮して成し遂げないわけにはいかなかった」

- (12) Бу санаа-бы-ттан мин олоб-ум майгы-ты-н суруй-ан
 この 考え-P.1SG-ABL 1SG 人生-P.1SG 気持ち-P.3SG-ACC 書く-SEQ
 бар-ан ахтыы диэн ааттаа-н бу суруг-у гытта эйиэхэ
 AUX-SEQ 回想 と 名づける-SEQ この 手紙-ACC と 2SG:DAT
 биэр-э-бин.
 与える-PRS-1SG

「こうした考えにより、私の人生の心を書いて回想と名付けてこの手紙とともにあなたにお渡しします」

- (13) Бил-э-бин бу сурук туһа-та суоһ-у-н: кини-ни
 知る-PRS-1SG この 手紙 利益-ABES ない-P.3SG-ACC 3SG-ACC
 холобур кэрэтэ эн эрэ ааһ-ыа-ң, эйиги-ттэн атын
 例 PTCL 2SG だけ 読む-FUT-2SG 2SG-ABL 他の
 киһи ким да ааһ-ыаһ-а суоһ-а.
 人 誰 PTCL 読む-FUT-3SG ない-P.3SG

「私は分かっている、この手紙が役に立たないことを。それを例えばあなただけが読むだろう、あなた以外の人は誰も読まないだろう」

- (14) **Оол** да гын-нар кини-ни суруй-ар балай эрэ
 あれ PTCL する-COND:3SG 3SG-ACC 書く-VN.PRS 闇雲 PTCL
 эрэй-дээх баар-а, оннук буолуо-м-уоҕ-у-ттан да **түктэриңи**
 苦しみ-PROP ある-P.3SG そう なる-NEG-VN.FUT-3SG-ABL PTCL 不具合
 баар-а: урут Саха тыл-ы-нан биир да сурук суру-лл-а
 ある-P.3SG 昔 サハ 語-P.3SG-INST 1 PTCL 手紙 書く-PASS-SIM
 икиг-э, кини сурук-ка киир-эр тосхол-о хуолу-та
 まだ-P.3SG 3SG 書記-DAT 入る-VN.PRS 方向-P.3SG 慣例-P.3SG
 билл-э илиг-э.
 分かる-SIM まだ-P.3SG

「そうだとすれば、それを書くことには多大な苦しみがあった。そうならないわけにはいかなかった。昔、サハ語で 1 つも手紙が書かれなかった時、それが文字として残るなどとは分かっていなかった」

- (15) Былыргы үйэ-ттэн аныаха диэри көст-өр **Саха-лы**
 昔の 世紀-ABL 今:DAT まで 見える-VN.PRS サハ-SML
 суру-ллу-бут арай биир Кэтихисис диэн таңара суруг-а,
 書く-PASS-VN.PST ただ 1 カテキズム という 神 書記-P.3SG
 бу да сурук **Нүчча** кинигэ-ти-ттэн бэрт куһаҥан-нык
 この PTCL 書記 ロシア 本-P.3SG-ABL とても 悪い-ADVLZ
 тылбааста-м-мыт.
 翻訳する-REFL-PST:3SG

「昔から現在までに存在している、サハ語で書かれた唯一の『カテキズム』という聖なる書が。この書記はロシア語の本からとても無様に訳されている」

- (16) Бу туһ-у-ттан мин билигин үөр-э-бин тапты-р
 この こと-P.3SG-ABL 1SG 今 喜ぶ-PRS-1SG 愛する-VN.PRS
 Саха-м тыл-ы-нан маңнайгы суруг-у мин
 サハ-P.1SG 語-P.3SG-INST 第一の 手紙-ACC 1SG
 суруй-буп-пу-ттан.
 書く-VN。 PST-1SG-ABL

「このため私は今嬉しい、愛する我がサハ語により最初の手紙を私が書いたことで」

- (17) Бу ахты сурук-ка соботох бэйэ-м туһ-у-н
 この 回想 手紙-DAT 唯一 自分-P.1SG こと-P.3SG-ACC
 суруй-уох-пу-н мин абыйаҕ-ынан аах-пыт-ым: киниэхэ сор-тон
 書く-FUT-1SG-ACC 1SG 少ない-INST 読む-PST-1SG 3SG:DAT 悲哀-ABL
 санарбы-лаах ахты-ттан ордук туох да суох.
 悲しみ-PROP 回想-ABL より 何 PTCL ない

「この回想にはただ自分のために書くべきことを私が少しばかり含めた。そこには悲しみ、悲しい回想の他には何もない」

- (18) Бу туһ-у-ттан мин, бэрт да кылгас-тык буол-лар,
 この こと-P.3SG-ABL 1SG とても PTCL 短い-ADVLZ なる-COND:3SG
 эбии суруй-бут-ум Саха оло-ор майгы-ты-н хуолу-ту-н.
 追加 書く-PST-1SG サハ 住む-VN.PRS 気持ち-P.3SG 慣習-P.3SG-ACC
 「このために私は、極めて短くはあっても、さらに書いた、サハ民族の日々の気持ちや慣習を」

- (19) Уһун-нук суруй-уох-пу-н суруг-ум кизб-э буой-бут-а,
 長い-ADVLZ 書く-VN.FUT-1SG-ACC 手紙-P.1SG 形-P.3SG 禁ずる-PST-3SG
оол гэннэ Саха оло-ор майгы-ты-нан бары дьон-тон
 その 後 サハ 住む-VN.PRS 気持ち-P.3SG-INST 全て 人々-ABL
 Атын, санаа-та майгы-та хас да үйэ уста-ты-гар
 他 考え-P.3SG 気持ち-P.3SG いくつ PTCL 世紀 長さ-P.3SG-DAT
 абыйах улларыйы-лаах,¹¹ хуолу-та көнүл-э ураты, оло-ор
 少ない 変化-PROP 慣習-P.3SG 自由-P.3SG 特別 住む-VN.PRS
 сир-ин уста-та кэм-э суох, тыа-лара барам-мат күндүү
 所-P.3SG 長さ-P.3SG 時-ABES ない 森-P.3PL 尽きる-NEG:VN.PRS 貴重な
 кыыл-ынан уу-лара аат-таах үтүө балыг-ынан байд-ар,
 動物-INST 水-P.3PL 名-PROP 良い 魚-INST 富む-PRS:3SG
 сир-ин тымны-та итии-тэ кэм-э суох күүс-тээх,
 所-P.3SG 寒い-P.3SG 暑い-P.3SG 時-ABES ない 力-PROP
 от-о маһ-а үүн-эр күүһ-э холобур-а суох.
 草-P.3SG 木-P.3SG 育つ-VN.PRS 力-P.3SG 例-ABES ない

「私が長く書くことを手紙の形式が禁じた。そしてサハ人は日々の気持ちにおいて他の人々とは異なる。その考えや気持ちは何世紀もの間ほとんど変わらない。その慣習や権利は特別だ。その居住地の広さは計り知れず、その森は貴重な動物でい

¹¹ 現代標準サハ語では уларыйы 「変化」のように重子音を持たない。

っぱいで、その水は名高い良い魚に富み、その土地の寒さ暑さは計り知れない強さで、その草木の育つ力は例えようがない」

- (20) Бу маны бары-ты-н биирдии **бичиги-ли** суруй-дах-ха
 これ これ:ACC 全て-Р.3SG-ACC 1 つずつ 文字-SML 書く-VN.NEUT-DAT
 хас да халыг кинигэ сурук тахс-ыаҕ-а этэ.
 いくつ PTCL 厚い 本 手紙 出る-FUT-3SG PTCL
 「これらすべてを 1 文字ずつ書いていったら、何冊かの分厚い本になってしまったであろう」

- (21) Маныха эб-илл-иэх тус-таах үйэ-ттэн үйэ-бэ ыччат-тан
 これ:DAT 足す-PASS-FUT こと-PROP 世紀-ABL 世紀-DAT 若者-ABL
 ыччак-ка иһ-эр усках тыл: ким баар-а-й **кинилэр**
 若者-DAT 向かう-VN.PRS 風聞 語 誰 ある-Р.3SG-Q 3PL
 төрүт эһэ-лэрэ?
 根 祖父-3PL

「この手紙に加えられるのは何世紀もの間、世代から世代へと伝わる風聞だ。誰であったのか彼らの先祖の祖父は、という」

- (22) туох-тан кыһан-ан **кинилэр** кэм-э суох ыраах дойдуну
 何-ABL 努力する-SEQ 3PL 時-ABES ない 遠い 国-ACC
 бул-бут-тара-й? ¹²
 見つける-PST-3PL-Q

「何のために努力して彼らは計り知れなく遠い国を見つけたのだろうか？」

- (23) урукку-ттан **кинилэр** суруг-у бил-бэт-тэрэ дү, хойут
 昔-ABL 3PL 書記-ACC 知る-NEG:PST-3PL か 後で
 сурук-тары-н сүтэр-бит-тэрэ дү?
 書記-3PL-ACC 失くす-PST-3PL か

「昔から彼らは知らなかったのか、後で書記を失ったのか」

¹² Böhlingk (1851) では(22)と(23)の文頭は小文字で記されている。

- (24) Бу усах кэпсэ-н-эр тыл-лар-тан киһи туох эмиэ
 この 風聞 話す-REFL-VN.PRS 言葉-PL-ABL 人 何 も
 туһа-лаах итэҕэл-лээх былыргы-ны таһаар-ыаҕ-а этэ.
 利益-PROP 信仰-PROP 昔-ACC 出す-FUT-3SG PTCL
 「この風聞が話される言葉から人は何らかの有益な過去を引き出しただろうに」

- (25) Бу бары-га билигин эт-илл-имнэ хаал-ар **оол** кэм-нэ
 これ 全て-P.3SG 今 言う-PASS-NEG:SEQ AUX-PRS:3SG あの 時-DAT
 диэри төһө-ҕө Саха эн төрүт үөрэх-хи-ттэн эт-эр
 まで どれほど-DAT サハ 2SG 根 教育-P.2SG-ABL 言う-VN.PRS
 тыл-ынан суруй-а үөрэн-иэб-эр диэри биэтэр көнүл дьол-лоох
 語-INST 書く-SIM 学ぶ-VN.FUT-DAT まで または 自由 幸福-PROP
 олох-тоох көрсүө санаа-лаах **Нүчча** оннук эрэй-и
 生活-PROP 賢い 考え-PROP ロシア そのよう 苦しみ-ACC
 бэйэ-ти-гэр ыл-ын-ыаҕ-ар диэри.
 自分-P.3SG-DAT 取る-REFL-VN.FUT-DAT まで
 「このすべては今では語られないままだ、その時まで、サハ民族があなたの教育により話し言葉で書くことを学ぶまで、あるいは自由に幸福な生活を持つ賢いロシア人がそのような苦しみを自分たちに受け入れるまで」

- (26) **Оол** икки ард-ы-гар төһө эрэ туһа-лаах буол-ар
 その 2 間-P.3SG-DAT どれほど PTCL 利益-PROP なる-VN.PRS
 этэ, **киинилэр** тыл-лары-нан таһара сурук-тары-н аат-таах киһи-лэр
 PTCL 3PL 言葉-P.3PL-INST 神 書記-3PL-ACC 名-PROP 人-PL
 оlor-бут майгы-лары-н тылбаастаа-н суруй-ан **кииннэр-гэ**
 生きる-VN.PST 気持ち-P.3PL-ACC 訳す-SEQ 書く-SEQ 3PL-DAT
 ыт-ар буол-лар!
 送る-VN.PRS なる-COND:3SG
 「その間にどれほど有益であったろうか、彼らの言葉で聖書を有名な人々の日々の心境を訳して彼らに送ったとすれば！」

- (27) **Киинилэр** ону бары-ты-н ааҕ-ан өйдүө-н
 3PL あれ:ACC 全て-P.3SG-ACC 読む-SEQ 分かる-SEQ
 саныы-р-га үөрэх-хэ сыст-ыах-тара этэ.
 考える-VN.PRS-DAT 教育-DAT 付く-FUT-3PL PTCL
 「彼らはそれをすべて読んで理解し考えることで教育ができたであろうに」

- (28) Сүрэх-пи-ттэн баҕар-а-бын төрүттүө-бүт суол-гу-н
 心-P.1SG-ABL 願う-PRS-1SG 創始する-VN.PST 道-P.2SG-ACC
 бүтэр-изх-хи-н.
 終える-VN.FUT-2SG-ACC
 「私は心から願う、あなたが始めた道を終えることを」

- (29) Ыалдь-ар сүт-эр эйиэхэ кэргэн-нэр даҕаны
 病む-VN.PRS 無くなる-VN.PRS 2SG:DAT 家族-P.2SG:DAT も
 тии-бэ-тин, өл-үөх диэри ханнык да сор эйиэхэ
 届く-NEG-IMP.3SG 死ぬ-VN. FUT まで どんな PTCL 苦しみ 2SG:DAT
 сысты-ба-тын.
 付く-NEG-IMP.3SG
 「病や死があなたと家族に訪れませんように、死ぬまでどんな苦しみもあなたにありませんように」

- (30) Эйигин мэлдьи ытыктаа-ччы эйиэхэ үтүө-нү баҕар-аччы
 2SG:ACC 常に 尊敬する-ACTOR 2SG:DAT 良い-ACC 願う-ACTOR
 「あなたを常に尊敬しています、あなたに良いことを願っています」

- (31) Убарыскай.
 PSN
 「ウワロフスキ」

- (32) Саха аахсы-ты-нан сэтинньи ый аҕыс саҕа-та.
 サハ 数え方-P.3SG-INST 第7 月 8 新しい-P.3SG
 「サハの数え方で、第7の月（11月）の8日」

5. ウワロフスキの「手紙」と現代標準サハ語との違い

5.1 母音の長短

ウワロフスキのサハ語文と現代標準サハ語の間には、母音の長短について食い違いが見られる。まず接辞中の母音については、次の表1のような違いがある。これらの例ではいずれも、現代標準サハ語の長母音が「手紙」では短母音で現れている。

表1 接辞における母音長短の違い

	ウワロフスキの「手紙」	現代標準サハ語	例文
目的副動詞	-ары	-аары	(1)
行為者名詞派生	-аччы	-ааччы	(30)
様態派生	-лы	-лыы	(10)、(15)、(20)

次に語幹中の母音については、表2のような違いがある。疑問の「か」と「ロシア(人)」については、現代標準サハ語の長母音が「手紙」では短母音で現れている。逆に「貴重な」、指示詞の「あれ」、「不具合」の3語については、現代標準サハ語の短母音をウワロフスキは長母音で記している。つまり、現代標準サハ語とウワロフスキのテキストには母音の長短について違いが見られ、その違いには一貫した傾向が見られるわけではない。

表2 語幹における母音長短の違い

	ウワロフスキの「手紙」	現代標準サハ語	例文
か(疑問)	ду	дуу	(23) (2か所)
貴重な	күндүү	күндү	(19)
ロシア(人)	Нучча	Нуучча	(15)、(25)
あれ(指示詞)	оол	ол	(14)、(19)、(25)、(26)
不具合	түктэрии	түктэри	(11)、(14)

ここでは指示詞「あれ」に注目したい。表2にも示す通り、この指示詞は現代標準サハ語では短母音を持つ(ол)。ただし、話者から見て遥か遠くに存在する事物を現場指示する際には、長母音を伴う形式(оол)も用いられる。しかしウワロフスキの表記では、4例の遠称指示詞がすべて長母音を伴っている(「回想」中のすべての例も同様である)。

Old Turkic は母音の長短の区別を持っていた。現代サハ語の長母音のうち一部は、OTの長母音を受け継ぐものである。OTの遠称指示詞は *ol* であり短母音を有する。しかしながら Erdal (2004: 48-49) によれば、母音字が重ねて表記されることがあり、ある立場ではこれを長母音と解釈することが可能であるという¹³。

さらに指摘すべき点としてチュヴァシ語との対応がある。OTの長母音の一部は、チュヴァシ語の語頭における「唇歯摩擦音+母音」に対応することがある¹⁴。チュヴァシ語の遠称指示詞が *вӑл* である事実からすると、OTでは長母音を持つことが期待

¹³ もう一つの立場に立てば、母音の二重表記は円唇母音の前舌/後舌を区別するためのものであるという。

¹⁴ 例としてはチュヴァシ語の *вут* 「火」や *вун* 「10」が該当する。これらはサハ語では *уот* 「火」や *уон* 「10」のように二重母音として現れる。

される。仮にウワロフスキの表記がより古い段階のサハ語の姿を現すものであるとすれば、サハ語の遠称指示詞において長母音から短母音への変化が起こったことになる。

5.2 語彙的・文法的違い

語彙的あるいは文法上の違いについて、以下の3点に簡単に触れる。

第一に、継起副動詞否定形の接辞形式に違いがあるのを指摘できる。ウワロフスキのサハ語文における接辞形式は-ымна（および母音調和等による異形態）であるが、現代標準サハ語では-бакка（および母音調和等による異形態）である。「手紙」中にこの接辞形式は2例（例文(3)および(25)）現れているが、現代標準サハ語同様の形式は全く現れない¹⁵。

第二に、3人称複数人称代名詞の形式に揺れがある。現代標準サハ語では кинилэр を用いる。ウワロフスキのサハ語文では、кинилэр の他に киннэр も用いられる。出現頻度を見ると、「手紙」中に前者は4例現れ、後者は3例現れている（кинилэр は例文(21)、(22)、(26)、(27)に、киннэр は例文(9)、(23)、(26)に現れる）。

第三に、1人称単数人称代名詞の対格形の違いが指摘できる。「手紙」の例文(2)に現れる形式 мийигин は現代標準サハ語の形式 миигин と異なっている。1SG 人称代名詞の主格形が鼻音 н を有すること、および1SG 人称代名詞の斜格形には「鼻音化した й」が現れることから見て、接近音が脱鼻音化する以前の姿を映したものであると推定することが可能である。すなわち、次の表3に示す[1]から[3]への変化が起こったと推定できる（表3ではこのことを2人称単数人称代名詞と対比させつつ示す）。

表3 人称代名詞対格形の脱鼻音化

	主格	対格		
		[1] й は鼻音	[2] й が脱鼻音化	[3] 音節の縮約
1SG 代名詞	мин	мийигин	мийигин	миигин
2SG 代名詞	эһ	эйигин	эйигин	эйигин

6. 終わりに

Böhtlingk (1851) に収められた2つのテキスト、すなわちウワロフスキの「手紙」「回想」はサハ語母語話者による最古のサハ語文であると考えられる。本稿ではウワロフスキの「手紙」を考察の対象とし、現代標準サハ語との違いを考察した。

本稿では母音の長短に特に注目し、現代標準サハ語との違いが見られること、その違いは必ずしも一貫した傾向を示すものではないことを指摘した。注目すべきなのは、遠称指示詞「あれ」の母音の長さである。「手紙」中の全4例で、遠称指示詞は長母音を伴って表記されている。仮に古い段階のサハ語で長母音を含んでいたと考えられれば、

¹⁵ なお「回想」にも一貫して接辞形式-ымна が現れている。

Old Turkic の表記やチュヴァシ語との対応に関する1つの手掛かりを与えることになる。

略号

ABE: 欠格、ABL: 奪格、ACC: 対格、ADVLZ: 副詞派生接辞、AUX: 補助動詞、CAUS: 使役、COND: 条件法、DAT: 与格、FUT: 未来、IMP: 命令、INST: 具格、NEG: 否定、ORD: 序数、P: 所有接辞、PASS: 受身、PL: 複数、PROP: 所有(propriative)、PRS: 現在、PSN: 人名、PST: 過去、PTCL: 小詞、PURP: 目的副動詞、Q: 疑問、REFL: 再帰、SEQ: 継起副動詞、SG: 単数、SIM: 同時副動詞、SML: 様態派生(similative)、VN: 形動詞。

参考文献

Böhtlingk, Otto.

1851 *Über die Sprache der Jakuten. Grammatik, Text und Wörterbuch.* St. Petersburg.
[Reprinted in 1963, Indiana University Publications, Uralic and Altaic Series, vol. 35. The Hague: Mouton.]

Erdal, Marcel.

2004 *A grammar of Old Turkic.* Leiden/Boston: Brill.

Nikolaeva, A.M.

2013 А.Я. Уваровской «Ахтыларыгар» тыл этигэн ньымалара. [ウワロフスキの『回想』における言い回し] Danilova, N.I. et al. (eds.) *O.N. Betlingk i voprosy tjurkskoj filologii.* Yakutsk: IGI and PMNS. 205-207.

Nelunov, A.G.

2013 Frazеologizmy v «Vospominanijax» A.Ja. Uvarovskogo. Danilova, N.I. et al. (eds.) *O.N. Betlingk i voprosy tjurkskoj filologii.* Yakutsk: IGI and PMNS. 110-113.

Pakendorf, Brigitte.

2007 *Contact in the Prehistory of the Sakha (Yakuts): Linguistic and Genetic Perspectives.* LOT Dissertation series 170. Utrecht: LOT.

The Oldest Sakha Text by Uvarovskij

Fuyuki EBATA

Niigata University

Böhtlingk (1851), the first comprehensive grammar of Sakha (Yakut), contains two texts written by Uvarovskij, a native speaker of Sakha. These two texts, Uvarovskij's letter and memoir, are considered to be the oldest texts written in Sakha. This paper gives morpheme-by-morpheme glosses and translations to Uvarovskij's letter to Böhtlingk, and examines how his language differs from modern standard Sakha particularly focusing on the vowel length. In some cases, Uvarovskij uses short vowels where modern standard Sakha has long ones, and in other cases there are apparently sporadic long vowels corresponding to modern short ones. It is noteworthy that Uvarovskij uses long vowels in all the four examples of the distant demonstrative pronoun *ool*, which is *ol* with a short vowel in the modern standard language. Thus Uvarovskij's text perhaps reflects an older stage of Sakha language, and gives some keys to the comparative studies of Turkic languages.